

鈴溪の郷 散策地図

- 凡例**
- 寺院
 - 神社
 - 石碑・記念碑
 - 資料館
 - 工場
 - 温泉
 - 海水浴場
 - 駐車場
 - トイレ
 - 食事・レストラン
 - 喫茶・軽食
 - 店舗売店
 - 宿泊施設
 - 公園
 - 展望地
 - バスのりば
 - ガソリンスタンド



多賀神社(河原)
社 標 森下信衛海軍少将初老一
同による奇進
(揮毫は古川弘少将)
石 段 盛田久左衛門とミツカンの
中笠又左衛門より奇進
(平成十六年改修)
手 水 古川弘海軍少将よりの奇進
二の鳥居 古川庄次左衛門(古川弘、四
郎家)よりの奇進
(平成十六年改修)
多賀の里 地で取れた農産水産物の直
売所

4 小鈴谷漁協
伊勢湾の養分をたっぷり含んだ小
鈴谷の海苔(のり)。小鈴谷漁協で
購入できます。
愛知県常滑市小鈴谷字赤松26番地
■営業時間 9:00~17:00
■定休日 土曜・日曜・
祝日・年末年始休 散策地図
■電話 0569-37-0217 2-G

5 盛田味の館
江戸時代の醸造蔵で日本の食文
化を紹介。酒、みそ、しょうゆの販売
や食事を楽しめます。工場見学も
可能。(15名以上、要予約)
愛知県常滑市小鈴谷字臨浜10番地
■営業時間 10:00~16:00
■定休日 水曜・
年末年始・盆休 散策地図
■電話 0569-37-0733 3-G

6 坂井温泉湯本館
愛知県唯一の鉄泉。(昭和八年よ
り湧出)天然温泉旅館。
部屋から見る中部国際空港や鈴鹿
山脈に沈む夕日は最高。日帰り入
浴も可能です。
愛知県常滑市坂井西側1
■電話 0569-37-0006 2-J

**7 坂井海水浴場
潮干狩り場(アサリの里)**
遠浅で、干潮時には500mにわた
って干潟が出現。
春~夏の潮干狩り、夏の海水浴と
ともに家族で安心して楽しめます。
愛知県常滑市坂井字落田31番地の6
■営業期間
潮干狩り 3月下旬~8月下旬
海水浴 6月下旬~8月下旬
■電話 0569-37-0922 散策地図
(坂井ビーチハウス・期間中のみ) 2-J

6 湯本館
伊東栄福堂医院(大聖堂)
伊東桐寿 西代、医師・漢学者
坂井人形浄瑠璃創始
伊東祐吉 六代、醫師・呼吸器病の名医
名作を聞き新美南吉の母も入院した
伊東延吉 文部事務次官
伊東俊夫 医学博士・伊東細胞の発見

**7 坂井海水浴場
潮干狩り場**
3~8月は有料
坂井ビーチハウス・海の家
細見京之助氏屋敷
明治末期に生産量一位に
もなったこともある西倉酒造
行基作の薬師如来を祀る
・明治天皇御製の碑
・片岡辰次郎銅像碑
・三ツ山神定の絵馬
松尾神社
小鈴谷可役場跡
道路元標
松尾車輦倉
山車「松尾車」を収納
陸井豊久翁頌徳碑
坂井の父

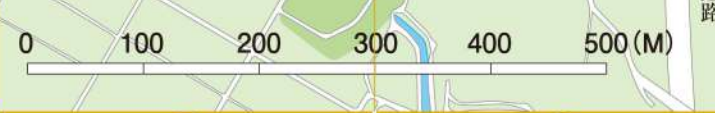


1 高砂山
伊勢湾から遠く鈴鹿山脈まで見渡
すことができる絶好のロケーション。
プチハイキングにぴったり。
愛知県常滑市大谷 散策地図
6-A

2 小脇公園
伊勢湾が一望できる展望台や、芝
生の上でくつろげるふれあい広場
のある農業公園。バーベキューや
いも掘り、イチジク狩りが楽しめる
体験農園(要予約)も人気で、家族
連れでにぎわいます。
愛知県常滑市坂井字小脇10番地
■営業時間 9:00~17:00
■定休日 月曜・年末年始 散策地図
■電話 0569-37-1531 3-I

3 タニカワ農園
アットホームな雰囲気の中、子供に
も食べやすい高さで栽培された草
苺などのイチゴ狩りを楽しめます。
愛知県常滑市坂井字笠取81番地
■営業期間 12月中旬~5月下旬
■電話 090-9921-6797 散策地図
(要予約) 6-K

- お食事・休憩**
- Sya-na(シーナ)
手づくりの小さなお店
常滑市大谷字鴨 39-1
電話: 0569-37-2456
 - あい(たこ焼き)
常滑市大谷字鴨 38-2
 - カフェアリス
常滑市大谷字道向 126-2
電話: 0569-37-1691
 - ラーメンすず
常滑市小鈴谷字権田 87-1
電話: 0569-37-1258
 - 盛田味の館
常滑市小鈴谷字臨浜 10
電話: 0569-37-0733
 - コーヒーこわき
常滑市坂井字小脇 10
電話: 0569-37-1531
 - 君吉(そば、うどん)
常滑市坂井字奥田 139
電話: 0569-37-1258
 - 海鮮創作酒房 湾(ベイ)
地魚と旬の素材でゆったりつづる
常滑市坂井字梅田 13-1
電話: 0569-37-1170
 - 魚よし(地魚料理)
常滑市坂井字奥田 139
電話: 0569-37-0104(要予約)
 - とんかつくら
常滑市坂井字奥前 19-6
電話: 0569-37-1551



尾州知多 鈴溪の郷巡り

あの人達を見た、触れた、育った 鈴溪の郷を巡る



鈴溪の信仰

江戸時代に流行した三山禪定。富士山・立山・白山へと登り、村に帰ってくる。小鈴谷の盛田家には「三禪定之通」（延宝四年1676年）の帳冊が残されており、三山を駆けつけた六十日間が克明に記されている。またこの帳冊には元禄三年（1690年）や宝永元年（1704年）の禪定の記録と共に、“康永三年大暑天泰隆記”（康永三年1344年）の文字が書かれ、禪定登山は古くからの地で行われてきた様である。

この地方では江戸時代以前より大峯山系の修験道者を先達とし富士禪定登山と白山禪定登山の二山禪定が風習として根付き、そこに立山宗徒による廻樞配札が行われ三山禪定が形作られた。この三山禪定はおそらく、まさにこの知多郡から始まったことが推測されるという。江戸時代後期には江戸見物・日光見物なども加わったようである。

火防せの鎮守秋葉山詣でが盛んになるのは江戸時代中頃であり、秋葉信仰の常夜灯も多く残っている。

覚明行者が登拝を簡素化し御嶽登山が盛んになるのは江戸時代末頃である。それらの遺構が各村に残されている。

※常夜灯・・・八幡社（大谷 文化八年） 白山神社（小鈴谷 文化七年） 寶珠院下（小鈴谷 文化十四年） 廣石神社（広目 文化四年） 松尾神社（坂井 文政七年、天保七年）



鈴溪の歴史を歩む

命祺翁と溝口幹塾長

命祺翁は明治維新で活躍した福沢諭吉や松下村塾から出た品川弥二郎や明倫館を出た井上馨などとの親交を深め、これからの日本には教育が必要と考え、私財を投じ学校を建設し学費や寄宿舎などの支援を行った。また秀才の誉れが高い伊勢神宮副官御師の子息、溝口幹の資質を見込み小鈴谷村に招いた。

溝口幹は命祺翁の理想に感銘し、薫陶と支援を受け、小鈴谷村郷学校の教師を経て大阪・東京の師範学校で学び、大津師範では卒業後、教職を経験した後小鈴谷村に戻り、「私塾鈴溪義塾」の塾長となり、“志”“学”“情熱”の三つの柱を教育の礎として多くの人材を育て、命祺翁の期待と支援に応え小鈴谷村でその一生を終えた。

鈴溪の巡礼

- | | | |
|------------|------------------|--|
| 大谷 | 八幡社 | 富士登山の絵馬(明治三十五、四十年) |
| | 玉泉寺 | 役行者石像 |
| | 高砂山 | 御嶽山石仏ほか |
| 小鈴谷 | 寶珠院(行者堂) | 大峯山参拝の絵馬(大正七年 1918年)
役行者木像
(製作年不明 厨子 宝暦五年 1755年製作) |
| | 白山神社 | 白山登山の絵馬(昭和十年、他)
富士登山の絵馬(明治年代) |
| 広目 | 廣目寺 | 富士登山の絵馬(文政十三年 1830年)
三禪定の絵馬(安政三年 1856年) |
| | 弘法山 | 大峯山、御嶽山石仏、
役行者石仏他 |
| 坂井 | 東光寺 | 三ツ山禪定の絵馬(嘉永元年 1848年)
富士登山の絵馬(大正十四年) |
| | 御嶽山 | 石碑ほか |
| 荻屋 | 多賀神社(絵馬堂) | 富士登山の絵馬(明治以降) |
| | 御嶽神社 | 大峯登山の絵馬(明治以降)
安楽寺東の山に石碑と籠り堂 |

他の村々にも多くの山岳登拝の碑や絵馬が奉納されている。

※役行者・・・名を役小角(えんのおづめ)という。飛鳥時代から奈良時代の呪術者で若くして孔雀明王の呪法を学び修験道の基礎を築き、左右に前鬼・後鬼を従え法力を用いたとされる。

鈴溪義塾出身の偉人達

- 盛田 善平氏 (1862～1937)**
敷島製パン創業者
盛田本家久左衛門家の分家、太助家の出。カプトビール製造販売。鈴溪学校卒。
- 石黒 魯平氏 (1885～1956)**
標準語の父
東京帝国大学卒。文学博士。駒沢大学教授。著書「標準語の問題」「言語学提要」出版。
- 石田 退三氏 (1888～1979)**
トヨタ中興の祖
豊田自動機械製作所社長、トヨタ自動車工業社長、会長、相談役を歴任。(旧姓 澤田)
- 伊東 延吉氏 (1891～1944)**
文部事務次官
東京帝国大学卒。名古屋帝国大学設置に尽力。国民精神文化研究所所長。
- 森下 信衛海軍少将 (1895～1960)**
戦艦大和 第四代艦長
海兵45期。海大29期卒。第二艦隊参謀長。

- 古川 四郎海軍中將 (1877～1958)**
海兵27期。海大9期卒。軍令部参謀。兄(弘)も海軍少将。
- 盛田 久左エ門氏 (1887～1964) (彦太郎)**
盛田家第十四代当主。昭夫氏の父。石田退三氏の学友。
- 片岡 晴次氏 (1889～1972)**
片岡辰次郎氏の婿養子。東北開墾勲を継承し新潟女川村百五十町歩を開墾。
- 天木 順吉氏**
医学博士。弘前病院長。
- 榎本 誠氏 (1891～1965)**
世界記録となる年365個産卵のレグホンを作出。(旧姓 森田。亮三の弟)
- 稲垣 乾同住職**
京都南禅寺塔頭光雲寺住職。
- 森田 亮三氏 (1889～1969)**
盛田合資小鈴谷醸造所支配人。美浜町第二代町長。
- 森下 理三郎先生 (1895～1960)**
溝口先生須徳碑の揮毫。幾つかの小学校長を歴任。

弘法詣り

知多路には、小豆島・篠栗と並ぶ日本三大新四国霊場である知多四国八十八ヶ所霊場と讃岐の国 善通寺誕生院貫主より直伝証を拝受した四国直傳弘法大師尾張八十八ヶ所霊場とがあり、どちらも四国に似た風光明媚で温暖な知多の景色と相まって趣のある巡礼の道が形成されている。

知多四国八十八ヶ所霊場札所

- ※奥田 孔雀山報恩寺より
- | | | |
|-----------|--------|------------|
| 大谷 | 金鈴山曹源寺 | 番外札所(厄除大師) |
| | 金光山来応寺 | 五十八番札所 |
| | 万年山玉泉寺 | 五十九番札所 |
- 四天王寺 西阿野 崇光山稱名寺へ

四国直傳弘法大師八十八ヶ所霊場札所

- ※上野間 如意山大仙寺より
- | | | |
|------------|--------|------------|
| 坂井 | 醫王山東光寺 | 六十番札所 |
| | | 五十九番札所(寺内) |
| 広目 | 一乘山廣目寺 | 六十一番札所 |
| 小鈴谷 | 天龍山寶珠院 | 六十二番札所 |
| 大谷 | 金鈴山曹源寺 | 六十三番札所 |
- 西阿野 崇光山稱名寺へ

巡礼の絵馬、写真額

知多中西部には西国巡拝の絵馬の他、四国遍路、百観音結願の記念額、武者絵、動物図、芝居図など様々な絵馬が奉納され大変貴重であるといわれている。

この地方の偉人達

- 伊東 桐斉氏 (1807～1879)** 医師・漢学者
坂井祭礼の人形浄瑠璃(常滑市無形民俗文化財)を作り上げた。源平の戦物語「軍衛翁の白旗鬼一法眼 館の段」と題する。
- 陸井 太右衛門豊久翁 (1831～1920)** 坂井の父
坂井村の庄屋、陸井酒造。坂井村発展に尽くす。
- 森田 悟由禅師 (1834～1915)** 曹洞宗大本山永平寺
助賜号は性海慈船禅師(明治天皇より賜る)。第六十四世貫首
- 伊東 祐吉氏 (1862～1945)** 胃腸・呼吸器病の名医
祐吉の名声は広く知れ渡り、知多半島中から患者が集まる。岩滑の新美南吉の生母も入院した。
- 細見 京之助氏 (1867～1947)** 入づくり道づくり
陸井酒造より暖簾分けされ西倉を起す。小鈴谷村第四代村長。真心会設立。道路の整備。
- 片岡 辰次郎氏 (1872～1940)** 兜町の彦左衛門
山一證券から独立、山一証券創業。新潟に水田開墾。鉄道事業に投資、推進。
- 吉房 千代先生 (1885～1949)** 洋裁教育に一生を捧げた
半田洋裁学校創設。
- 伊東 俊夫氏 (1904～1991)** イトウセル発見の医学博士
肝臓の細胞を研究し、脂肪摂取細胞「ファット・ストアリング・セル」(通称イトウセル)を発見する。世界に認められ、学士院賞を受賞する。
- 前田 充明氏 (1910～2002)** スポーツの振興、日本人の体力向上に尽力
玉泉寺に生まれる。文部省体育局長。国立競技場理事長、日本学校給食会理事長、日本体育協会理事長、他要職を歴任。

鈴溪資料館

盛田家に伝えた江戸時代から明治末年に至る大量の古文書を保存。

■開館時間 9:00～16:30
■休館日 火・木・土・日曜日 祝祭日・年末年始
※一週間前までに、利用日時を連絡して下さい。
■連絡先 0569-37-1311 (財団法人鈴溪学術財団事務局) 電話 03-3797-5951

散策地図 3-F

盛田本家

盛田家は代々久左衛門を名乗り、小鈴谷村の庄屋を務めてきた。江戸初期寛文五年(1665年)に酒の醸造を始め、その後、宝永五年(1708年)味噌溜の醸造を始めた。十一代久左衛門命祺翁は幕末頃より事業を拡張し、酒の醸造法の改良を行い、文久三年(1863年)坂井の陸井太右衛門と共同で千石船三輪購入し江戸航路を拓き諸品の売買を行った。他にも親類の半田の中屋又左衛門(現在のミンカン)や中屋半六らと多角経営を推し進め経営基盤を固めた。また命祺翁は救済事業や神社改築、道路や海岸の整備、郷学校の創設、荒地の開墾等に尽力した。十四代久左エ門は一時期傾きかけていた会社の近代化と健全化を図り家業を隆盛へと導いた。また長男・昭夫のソニー創業時より盛田本家と盛田合資会社が経済的にも精神的にも支え、SONYが世界へ羽ばたき礎となった。

久左衛門家の本家と村内の太助家、孫助家などの分家による盛田六軒仲間の家々が協力し教育・文化を広める事により村は発展してきた。盛田家には大量の古文書が伝わっており、学術的にも大変貴重であり鈴溪資料館に保存されている。

世界のソニーへ 盛田昭夫氏

盛田本家第十五代久左エ門昭夫氏は、昭和二十一年、井深大らと東京通信工業株式会社(後ソニー株式会社と改名)を設立する。昭和四十六年社長、五十一年会長となる。昭夫氏はSONYの経営のみならず、様々な要職につき日本を代表する国際人として活躍した。

常設展「十五代当主 盛田昭夫」(盛田味の館 1F 展示室)

ソニー創業者、名響市民である「盛田昭夫」氏の人柄を秘蔵写真や映像で紹介。

■開館時間 10:00～16:00
■休館日 毎週水曜日
■問い合わせ先 電話 0569-37-0733

散策地図 3-G

寺院巡り

- 東光寺(曹洞宗) 本尊 釈迦如来** 散策地図 2-J
康暦2年(1380年)以前開創の薬師堂。行基作薬師如来を祀る。常滑市坂井字天16 電話 0569-37-0316
- 廣目寺(曹洞宗) 本尊 聖観音** 散策地図 6-1
中世七坊を有する大寺院であった。弘法大師作毘沙門天を祀る。常滑市広目字竹之奥2 電話 0569-37-0023
- 寶珠院(曹洞宗) 本尊 釈迦如来** 散策地図 3-F
盛田昭夫氏の生家盛田久左衛門家菩提寺。大黒天、恵比寿天を祀る。常滑市小鈴谷字亀井戸62 電話 0569-37-0348
- 曹源寺(曹洞宗) 本尊 阿彌陀如来** 散策地図 3-C
不自由な足が立つご利益のあるお寺。木製の車が奉納されている。常滑市大谷字奥條155 電話 0569-37-0173
- 来応寺(曹洞宗) 本尊 如意輪観音** 散策地図 3-C
婦女子教育に一生を捧げた吉房千代の菩提寺。心願成就の如意輪観音を祀る。常滑市大谷字奥條27 電話 0569-37-0447
- 玉泉寺(曹洞宗) 本尊 阿彌陀如来** 散策地図 2-B
永平寺六十四世貫首森田悟由禅師生家の菩提寺。12年毎開帳の秘仏延命地藏を祀る。常滑市大谷字浜條5 電話 0569-37-0159

鈴溪の祭礼

- 大谷 八幡社** 三月下旬の土・日曜日 散策地図 3-C
御祭禮は産土神に感謝し、村中安全・五穀豊穰・天下泰平・無病息災を祈念する。奉納の役を担う若衆(この地方では“わかいしゅ”“わかいし”と呼ぶ)は江戸時代から脈々と受け継がれてきた組織である。小正月、十五の歳に成ると若衆入りし、古くからの掟に従い、仕来たりを習い覚えてゆく。春爛漫 桜舞う中、厳肅なる思いを込め、祭り人による勇壮な御車の曳き廻し、人形儀の妙、獅子が舞い、囃子の音が鳴り響く。
- 浜條(西部神事部)**
前山人形 三番鬼(繪) 獅子舞【常滑市無形民俗文化財】
- 奥條(東部神事部)**
前山人形 三番鬼(繪) 獅子舞【常滑市無形民俗文化財】
- ※宝暦五年(1757年)に出された尾陽村々祭礼集に大谷村の山車二輛の事が記され、その歴史は古く旧車は寛政八年(1796年)に建造、天保十年(1839年)に大足村・大高村へ譲渡されたと云う。それ以前の知多型初期の山車の形を残すものが大谷奥條の旧車として明治初年より布土村平田で曳かれている。



車で越しの場合

▶名古屋から 知多半島道路・南知多道路(約45分) 武豊ICから約10分 国道155・247号線(約80分)

電車でお越しの場合

▶名古屋から 名鉄知多新線 上野間駅から知多バス(常滑南線)で約5分 名鉄常滑線 常滑駅から知多バス(常滑南線)で約25分

常滑市観光案内所 TEL 0569-34-8888 時間 9:00～17:30(年末年始休み)

企画・編集 鈴溪の郷巡り実行委員会 発行 常滑市役所 商工観光課 平成22年11月発行

小鈴谷 白山神社 四月第一土・日曜日 散策地図 3-F

小鈴谷祭典部

白山車(大正九年1920年建造) 新美常次郎による彫物
上山人形 糸繰り式三番鬼(昭和六年)
獅子舞(女獅子と男獅子の舞) 獅子殿(安政二年1855年) 中野基右衛門

※村中安全・五穀豊穰・盛田家の繁栄を祈念する太々神楽の面や道具も(安政二年)も保管され、子年と午年に奉納される。

広目 廣石神社 三月下旬の日曜日 散策地図 6-1

獅子舞「娘獅子」

かつては十一歳から若衆を務めたと云う。徳川の初め頃より獅子が舞われたとの伝承が残る。

坂井 松尾神社 三月下旬の土・日曜日 散策地図 2-J

坂井祭典部

松尾車(建造年不明) 中野基右衛門による彫物・昭和三十五年二代目非常こと新美茂茂司により修理【常滑市無形民俗文化財】
上山人形 からくり付糸繰り式人形浄瑠璃(天保十五年1844年) 演題:「軍衛翁白旗鬼一法眼 館の段」 浄瑠璃作者 伊東 明次 人形制作 大谷 善次郎 【常滑市無形民俗文化財】

※宝暦五年に庄屋より出された記録もあり、旧車(寛政五年1793年)の前山などが松尾神社に残されている。